経営比較分析表（令和2年度決算）

大阪府地方独立行政法人堺市立病院機構　堺市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	35	対象	ド 透 Ｉ 訓 ガ	救 臨 が 感 災 地 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
－	41,014	非該当	非該当	７ ： 1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
480	－	－
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	7	487
稼働病床（一般）	**稼働病床（療養）**	**稼働病床（一般＋療養）**
480	－	480

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和2年度全国平均

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

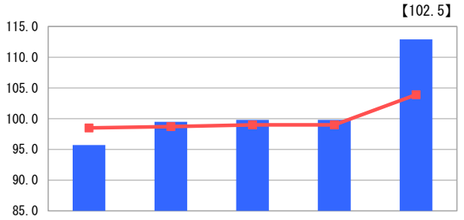
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

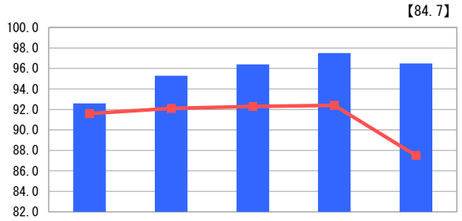
【102.5】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	95.7	99.5	99.8	99.8	112.9
平均値	98.5	98.7	99.0	99.0	103.9

②医業収支比率(%)

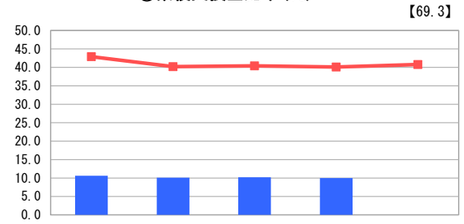
【84.7】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	92.6	95.3	96.4	97.5	96.5
平均値	91.6	92.1	92.3	92.4	87.5

③累積欠損金比率(%)

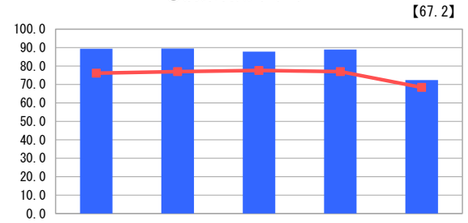
【69.3】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	10.6	10.1	10.2	10.0	0.0
平均値	42.9	40.2	40.4	40.1	40.8

④病床利用率(%)

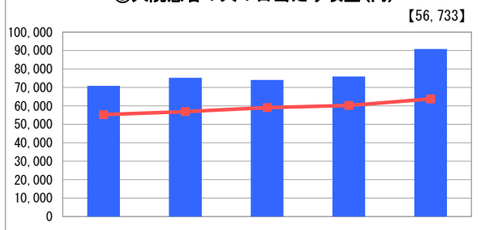
【67.2】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	89.4	89.5	87.8	89.0	72.4
平均値	76.1	77.0	77.6	77.0	68.4

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

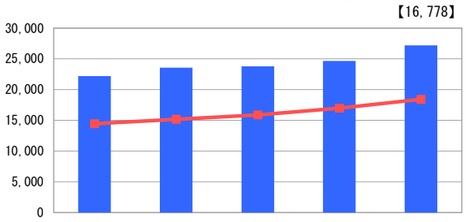
【56,733】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	70,880	75,216	74,091	75,918	90,815
平均値	55,265	56,892	59,108	60,271	63,766

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

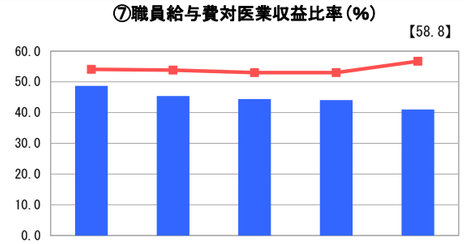
【16,778】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	22,200	23,567	23,794	24,663	27,182
平均値	14,455	15,171	15,887	16,979	18,423

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

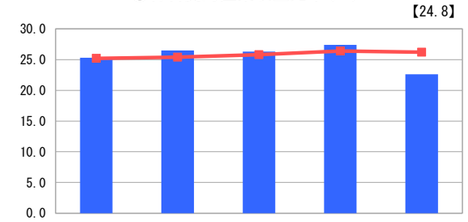
【58.8】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	48.7	45.4	44.4	44.1	41.0
平均値	54.1	53.8	53.0	53.0	56.7

⑧材料費対医業収益比率(%)

【24.8】

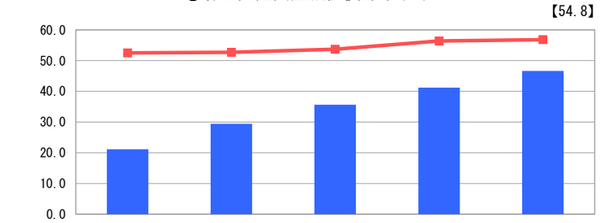


	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	25.3	26.5	26.3	27.4	22.6
平均値	25.2	25.4	25.8	26.4	26.2

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

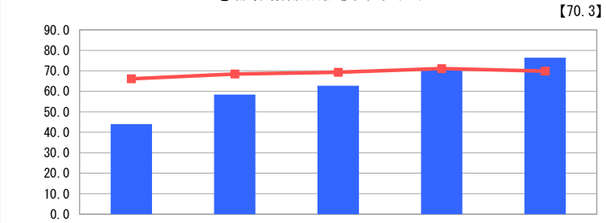
【54.8】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	21.1	29.4	35.6	41.2	46.6
平均値	52.5	52.7	53.7	56.4	56.8

②器械備品減価償却率(%)

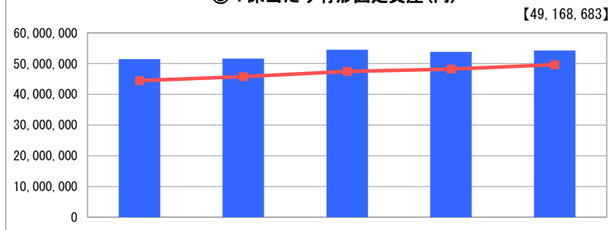
【70.3】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	44.0	58.4	62.7	70.5	76.4
平均値	66.1	68.4	69.3	71.1	69.8

③１床当たり有形固定資産(円)

【49,168,683】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	51,437,495	51,632,150	54,492,910	53,841,965	54,278,074
平均値	44,446,754	45,729,936	47,442,477	48,164,556	49,637,382

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

Ⅰ 地域において担っている役割

・市内唯一の救命救急センターとして、二次救急及び三次救急医療。
・地域医療機関との連携と役割分担に基づき小児医療及び周産期医療。
・感染症指定医療機関として地域の感染症医療における中核的な役割。
・災害拠点病院として地域防災計画に基づく対応を的確に行い、医療救護活動の実施。
・二次医療圏内における小児救急搬送件数の約半数以上の受入れを行っている。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症に感染症指定病院として当初より病院をあげて体制整備に努め、全力で対応した。その結果、一般の入院・外来患者は減少となったが、行政からの補助金等を効果的・効率的に活用し、経常収支比率が全国平均を上回るなどの財務状況を維持できた。

2. 老朽化の状況について

平成27年度の新築移転により建物・構築物等は類似病院と比較して老朽化は進んでいないが、医療機器については、器械備品減価償却率が令和2年度に初めて類似病院平均値を超える状況となったが、計画的に医療機器の更新を行っている。

全体総括

令和2年度は、堺市を中心に新型コロナウイルス感染症に対する医療体制の確保に努め、職員一丸となり、市民サービス向上に取り組んだ結果、診療報酬の加算や診療濃度の向上に繋がり、患者1人あたりの単価が増加した。
前年度に引き続き、今年度も経常収支比率をはじめとするほとんどの指標において、類似病院と比較しても好調である。
今後の課題は、新型コロナウイルス感染症に対応しながらも、コロナ後を見据え病床利用率の回復に向けて取り組む必要がある。